

<研究名称>

ステージDの末期心不全患者が望む在宅療養が継続できた一症例

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 旭川赤十字病院 訪問看護ステーション  
看護師長 五林郁子  
実施担当者 旭川赤十字病院 訪問看護ステーション  
看護師 加藤芽依

<研究期間>

2021～2023年までの入院期間と外来通院中の期間

<診療・研究の目的>

末期心不全患者に対して多職種で関わりアドバンス・ケア・プランニングを行い、患者の意向を尊重し10か月間在宅療養できた症例に対しての介入について振り返る。

<実施内容（方法）>

1. 研究デザイン

事例研究（単一事例研究）

2. 対象

対象：6階みなみ病棟へ入院後退院し在宅療養中のA氏の事例

3. データ収集方法

2021～2023年までの入院期間での看護介入を電子カルテから振り返り収集する。

2021～2023年までの訪問看護の介入を訪問看護記録から振り返り収集する。

<危険性（副作用）等>

特になし

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648